

令和7年度

教育委員会事務点検・評価報告書

～令和6年度事業・取組～

札幌市教育委員会

目 次

第1章 教育委員会の概要

1 組織及び主な職務権限	2
(1) 組織	2
(2) 主な職務権限.....	2
2 令和6年度の活動状況等	3
(1) 教育委員会会議の開催状況及び審議状況.....	3
(2) 学校視察及び児童生徒等との意見交換.....	4
(3) 大学生との意見交換.....	7
(4) その他の活動状況.....	8

第2章 点検・評価の概要

1 目的	10
2 実施方法等	11
3 第2期札幌市教育アクションプラン（前期）の施策体系	12

第3章 点検・評価の結果

1 重点項目の取組結果	18
(1) 重点1 共生社会を担う力の育成	18
(2) 重点2 誰一人取り残されない教育の推進	23
(3) 重点3 生涯にわたる健やかな体の育成	27
2 その他事業の取組結果	31
3 成果指標の動向.....	34
4 資料編（全事業・取組の点検・評価）	41
(1) 基本的方向性1 自ら学び、共に生きる力を培う学びの推進	45
(2) 基本的方向性2 多様な学びを支える環境の充実	67
(3) 基本的方向性3 市民ぐるみで支え合う仕組みづくり	81

第1章 教育委員会の概要

1	組織及び主な職務権限	2
(1)	組織.....	2
(2)	主な職務権限	2
2	令和6年度の活動状況等	3
(1)	教育委員会会議の開催状況及び審議状況	3
(2)	授業視察及び児童生徒等との意見交換	4
(3)	大学生との意見交換	7
(4)	その他の活動状況	8

1 組織及び主な職務権限

(1) 組織

教育委員会は、政治的中立性を維持しつつ、安定性・継続性を確保して教育行政を管理・執行するため、首長から独立した合議体の執行機関として設置されています。

札幌市教育委員会は、市長が議会の同意を得て任命した教育長及び5人の委員で組織されています。

札幌市教育委員会(令和7年8月28日現在)

- 教育長 山 根 直 樹 (令和6年5月25日就任)
- 教育委員 佐 藤 淳 (平成28年4月1日就任)
- 教育委員 石 井 知 子 (平成29年11月1日就任)
- 教育委員 道 尻 豊 (平成30年5月18日就任)
- 教育委員 中 野 倫 仁 (令和元年10月29日就任)
- 教育委員 朝 倉 由 紀 子 (令和6年10月11日就任)

(2) 主な職務権限

- 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること並びに主要な教育施策の確立、変更及び実施に関すること。
- 規則及び訓令の制定及び改廃に関すること。
- 審査請求及び訴訟に関すること。
- 職員の任免、分限及び懲戒に関すること。
- 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
- 通学区域の設定及び変更に関すること。
- 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案についての意見申出に関すること。
- 教科用図書採択に関すること。
- 奨学生の決定に関すること。
- 附属機関の委員の任免、委嘱及び解職に関すること。
- 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。

2 令和6年度の活動状況等

(1) 教育委員会会議の開催状況及び審議状況

毎月1回の「定例会」と、必要に応じて「臨時会」を開催しています。令和6年度は、定例会・臨時会合わせて21回の会議を開催し、下表のとおり73件の議案について審議を行いました。

また、教育委員会の事務に係る案件について事務局から報告を受けており、令和6年度は10件を取り扱いました。

教育委員会会議の審議件数一覧表

事 項	件 数	主な内容
教育に関する事務の執行管理の基本方針	8件	札幌市学校施設維持更新基本計画の改定等
教育委員会規則等の制定及び改廃	7件	札幌市学校運営協議会規則案 等
職員の人事に関すること	20件	学校管理職の人事 学校職員に対する懲戒処分 等
議会の議決を経るべき案件の意見申出	16件	一般会計当初予算案に係る意見 等
教科書の採択に関すること	4件	令和7年度使用教科用図書の採択等
附属機関の委員の委嘱及び任命	11件	札幌市社会教育委員の委嘱 等
審議会等への諮問	1件	札幌市教科用図書選定審議会に対する諮問 等
その他	6件	札幌市立小学校等の通学区域の設定等
合計	73件	

第1章 教育委員会の概要

(2) 学校視察及び児童生徒等との意見交換

教育委員会の事業・取組についてより理解を深め、効果や課題を的確に把握することを目的に、中央中学校及び幌北小学校において、教育長及び教育委員が授業視察や児童生徒等との意見交換を行いました。

《 中央中学校 》

■ 日時

令和6年7月22日（月）14:20～16:40

■ 関連する主な事業・取組

【読書】に関する学習活動の推進【札幌らしい特色ある学校教育】

■ 授業視察

文化祭の準備に取り掛かる1年生、宿泊学習の振り返りを行う2年生、教科ごとの学習に取り組む3年生の授業を視察した。3年生の授業では、クラスメイトと、自分がプログラミングした機体を戦わせて、どのようにプログラムすると飛行時間が長くなるのか試していた。



■ 学校司書・図書局員から説明

図書局員は学級に1～2人、合計21人体制で、月に1回委員会を開催している。春にオリエンテーションを実施して図書室の使い方（本の並び順や貸出可能冊数等）を伝えている。

夏季・冬季休暇前の長期貸出やスタンプラリー、秋の校内読書週間（新しい本を購入）のほか、図書局員企画の謎解きイベントや、中央中学生のおすすめ本アンケートなどを実施しており、生徒が足を運びたくなる図書館づくりに取り組んでいる様子が伺えた。日頃から、昼休み・放課後ともに多くの生徒が利用している。



■ 意見交換（学校司書）

＜視察者（教育委員）から＞

- ・図書室に、明るくて楽しい場所、という雰囲気できており非常に良いと思う。
- ・人気で常に貸出中となっている本はどのようなジャンルの本なのか。
- ・本を読む習慣がない子どもに、本を好きになってもらう方法として有効な方法は何か。

＜学校司書から＞

- ・文学や小説、ライトノベルが人気だが、スタンプラリーの効果により、0番台（総記：主題が複数の分野にまたがるものやいずれの分野にも属しないもの）・1番台（哲学・宗教）の棚が動くようになっている。
- ・「本に興味がない」と言っている子どもでも、図書室に来たら何かしら本を手にとって印象。まずは、図書室に足を運んでもらうことが大切だと考えている。



■ 意見交換（図書局員）

＜視察者（教育委員）から＞

- ・図書局員になったきっかけは何か。
- ・普段、いつ本を読んでいるのか。
- ・これまでの図書局員の活動で、手応えを感じた活動は何か。
- ・本を読む習慣がない子どもに、図書室を利用してもらうためにはどのような工夫が考えられるか。

＜図書局員から＞

- ・本が好きだから。図書室に来る人と一緒に本を探すことで、自分が読んだことのないジャンルに触れることができると思ったから。
- ・昼休みに本を借りて、翌日の朝読書の時間や、次の授業の準備を終えた休み時間に読んでいる。
- ・現在実施中のスタンプラリーに手応えを感じている。多くの生徒が取り組んでおり、2、3枚目に進んでいる生徒もいる。
- ・図書室でのイベントについて、学級の朝の会で宣伝しているほか、図書室の入口にブラックボードを設置して呼びかけている。



第1章 教育委員会の概要

＜ 幌北小学校 ＞

■ 日時

令和6年9月19日（木）9:00～10:30

■ 関連する主な事業・取組

【読書】に関する学習活動の推進【札幌らしい特色ある学校教育】

■ 授業視察

専科教員による6年生の国語の授業を視察した。「やまなし」という単元の1時間目で、「話の意味が分からない」「クラムボンって何だろう」「やまなしという題名なのに、やまなしが出てくるのが遅いのはなんでだろう」など、様々な疑問が飛び交っていた。

授業の後半、これらの疑問を解決するにはどうしたらよいのか考える時間があり、「宮沢賢治の他の作品を読んで、他にどんな表現をしているのかを学んだら、話の意味が分かるようになるかもしれない」「この作品は、自然を大切にしなければいけないというメッセージを伝えるために作られたのだと思う」と、自分なりの意見・解釈を持っている様子が伺えた。



■ 児童との意見交換

教育長・教育委員がグループに分かれて、読書活動に関して児童と意見交換を行った。



＜視察者（教育委員）から＞

- ・読書は好きか。
- ・普段どんなジャンルの本を読むのか。
- ・紙の本と電子書籍の違いは何だと感じるか。
- ・どんな図書館だったら行きたいと思うか。
- ・どんな取組・イベント等があったら図書館に行きたいと思うか。

＜児童から＞

- ・読書は好きで、朝読書の時間以外にも本を読んでいる。時間があるときは自宅でも本を読んでいる。毎日1時間程度小説や物語を読んでいる。
- ・小説や物語、漫画を読むことが多い。ホラーやミステリーが好き。近隣の公園の歴史など、自分で気になったことを調べるために本を読むことがある。



- ・紙の本のほうが分かりやすいと感じる。本を見つけたときに達成感がある。
- ・幅広いジャンルの本が揃っている図書館。寝転んで本を読むことができる図書館。清潔な図書館。友達と本について話せるスペースがある図書館。図書館の隣に文房具屋やカフェがあるといい。
- ・ブックカバーを自分で作ることができるイベントや、決められた冊数を読んだら特典がもらえるイベントを企画してほしい。
- ・自分で本を書きたい。一冊書くことは難しいので、1ページ書いて次の人につなぐリレー形式がいいと思う。大学生などにおすすめの本を紹介してほしい。



(3) 大学生との意見交換

「第2期札幌市教育振興基本計画」を読み解く講義「地域教育計画論」を受講している北海道大学教育学部学生と意見交換を行いました。

＜ 意見交換会 ＞

■ 日時
令和6年7月17日（月）13:00～14:30

■ 参加者
北海道大学教育学部学生30名
教育委員会事務局8名

■ 意見交換テーマ
「第2期札幌市教育振興基本計画」

■ 学生の感想
(計画策定)

- ・札幌市の教育計画が、これまでの歴史を受け継ぎながら、札幌らしさは何かを丁寧に考えながら作られていることが分かった。
- ・どのように施策の優先順位を調整しているのか気になった。
(不登校児童生徒の学びの場など)
- ・他者との関わりが薄い子から、学校から離れてしまう。自分がアルバイトや相談支援パートナーとして活動を行う上で、子どもと話して繋がり続けることの重要性を強く感じた。
- ・「不登校は問題行動ではなく、命を守るための行動と考える」という話があったが、約5,000人が学校を離れて命を守らないといけないという現状は、学校が子どもにとって生きる場所ではなくなっているように思える。



第1章 教育委員会の概要

(「学ぶ力」、ふるさと札幌など)

- ・ふるさと教育は、地域のいいところを伝えて、地元に戻ってきてほしいというものだと思っていたが、札幌での学びが人生に良い影響を与えているか、札幌で過ごしたり学んだりする過程に誇りをもつということを意図しているのだと分かった。

(図書館)

- ・今後、デジタル技術が進歩して電子図書館が普及したときに、学校で配布しているクロームブック等ICT機器との並行活用が重要になってくるのではないかと思った。
- ・図書館における司書の窓口業務の大変さが大きな課題だと感じた。



(ICT・GIGAスクールなど)

- ・オンライン化によりアンケート業務の時間が1/5～1/6ほど軽減し、授業の質向上につながることは非常に良いことだと思った。

(4) その他の活動状況

○ 協議会の開催（16回）

議案審議の前段階として、各施策の検討状況について事務局から報告を受け、各施策等の研究及び委員間での協議を行いました。

○ 各協議会での審議（3回）

北海道都市教育委員会連絡協議会、指定都市教育委員会協議会等の会員として、定期総会や協議会で議案等の審議を行いました。